

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成26年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	県民文化部 人権・男女共同参画課
指定管理者	(株)東急コミュニティー

1 施設名等

施設名	長野県男女共同参画センター(あいとぴあ)	住所 電話 ホームページ	長野県岡谷市長地権現町四丁目11番51号 0266-22-5781 http://www.pref.nagano.lg.jp/aitopia/index.html
-----	----------------------	--------------------	---

2 施設の概要

設置年月	昭和59年9月	根拠条例等	長野県男女共同参画センター条例
設置目的	男女共同参画社会の形成の促進を図るための中心的な施設として設置		
施設内容	ホール(504席)、研修室(3室)、科学研究室(調理実習室)(1室)、視聴覚・音楽室(1室)、生活技術講習室(1室) 図書室、面接相談室、学習交流室、あいとぴあGテラス、印刷室、託児室		
利用料金	ホール(9,600円～)、研修室(800円～)、科学研究室(調理実習室)(600円～)、視聴覚・音楽室(1,100円～)、 生活技術講習室(600円～) (ただし、利用する部屋、時間帯により利用料金は異なる)		
開所日	休館日は、毎週月曜日、祝日の翌日、12月29日から翌年1月3日まで など		
開所時間	9:00～21:00		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	財団法人 長野県勤労者福祉事業団
平成18年度～20年度	指定管理	東急コミュニティー共同事業体
平成21年度～23年度	指定管理	(株)東急コミュニティー

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	(株)東急コミュニティー	指定期間	平成24年4月1日～29年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:3)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成26年度(A)	平成25年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
38,350 千円	37,288 千円	1,062 千円	
	増減理由	消費税率引上げ及び電気料金改定による経費増額のため	

6 指定管理者が行う業務

<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備の維持管理に関する業務 センターの利用の許可及び利用料金に関する業務 上記業務に附帯する業務 自主事業
--

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:稼働率】

(単位:%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成26年度(A)	30.9	36.3	55.4	41.8	37.6	41.7	41.8	39.6	36.6	29.2	37.3	23.6	37.7
平成25年度(B)	30.9	41.7	50.0	51.6	39.7	40.6	41.8	52.6	53.6	39.3	39.8	40.1	43.5
(A)/(B)	100.0	87.1	110.8	81.0	94.7	102.7	100.0	75.3	68.3	74.3	93.7	58.9	86.7
増減要因等	4月にホール壁面タイルの落下があり1ヵ月半の利用中止等によりホール利用日数が前年88日から73日に減少。また、ホール以外の6施設も前年に比べ延べ831日から721日に減少した。												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成26年度(A)	207	162	568	317	411	381	477	648	455	262	240	213	4,341
平成25年度(B)	263	295	678	470	520	291	647	846	687	171	253	379	5,500
(A)/(B)	78.7	54.9	83.8	67.4	79.0	130.9	73.7	76.6	66.2	153.2	94.9	56.2	78.9
増減要因等	施設稼働率の低下に伴い施設利用料(-16%)、利用設備料(-25%)、冷暖房利用料(-25%)が減少した。												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・ 無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成26年度(A):301日	平成26年度(A):9:00～21:00	有・ 無	
平成25年度(B):302日	平成25年度(A):9:00～21:00		

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> 消費税8%に伴う利用料金改定は実施せず据置。 前年度サービスの継続に加え、持込電気器具利用料の一部無料化(電気事務機器など)実施。 研修棟エントランスと2階の研修室2室にWiFi環境を構築
--

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> スタッフの接客マナー、レベル向上の為、①四半期に一度「セルフモニタリング」を実施(5月、9月、12月、3月)②接客マナー訓練参加(商工会議所主催講座)③ホール舞台操作技術向上訓練実施④エントランスでの季節感演出(パンフラワー作品展示1ヶ月毎)

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> 調理実習室の道具類の場所がわかりづらいとの声があり、既存の表示(引出上部)の他、前面部にも表示した。
--

(様式2)

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を実施できた。	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	利用予約は先着順で受け付けるなど、平等な利用を確保した。	平等な利用を確保できたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	利用者アンケートを実施し、利用者の声を把握し速やかな対応に努めるとともに、セルフモニタリングや舞台操作訓練を行い職員個々のレベルアップに努めた。	利用者アンケートの実施により、利用者の声を把握して、サービス向上に反映させている。利用者からも概ね好評を得ている。	B
自主事業	7事業計画しましたが、実施は6事業で内容も変更した。結果521名の参加があったが前年に比べ集客数は減少した。(前年は9事業879名参加)	講師との日程調整等により計画した事業を変更し実施したが、概ね事業の目的を達成できている。	B
職員・管理体制	常勤職員:1名、非常勤職員:7名、計8名 仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行った。	仕様書及び事業計画書に基づく職員配置が行われている。	B
収支状況	収入42,691千円に対し、直接的支出は40,168千円であった。	利用者へのサービスの質が低下しないよう管理運営を行っていただきたい。	B
総合評価	前年度サービス策の継続に加え、消費税に伴う利用料の据置、持込電気器具利用料の一部無料化を実施しましたが、目立った利用促進策、サービス向上策は実施できなかった。	稼働率の向上や利用者の増加につながるような、自主事業に努めてほしい。	B

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	建築後30年経過し、貸館事業として、施設利用者を拡大するためには時代のニーズに対応した設備・備品に更新し、PRしていくことが必要と考える。	設備等については、計画的に更新等による改善を進めていきたい。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:平成25年11月15日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
利用者サービス向上の取組について ・利用者サービスの向上に向けての工夫が見られることから、更なる利用者の増加に対して努力をお願いしたい。 ・今後も利用者の声を把握し、迅速な対応に努めてもらいたい。施設所管課も利用者アンケートの内容を実際に確認する等、指定管理者による取組を具体的に検証するよう努めてもらいたい。 ・館内施設が多種であり、様々な機会を通じて、もっと施設のPRをして、広く多くの人に理解してもらえとよい。	・館内Wi-Fi環境の整備によりサービス向上を図った。 ・セルフモニタリングの継続と舞台操作訓練により職員個々の接客レベルの向上を図った。 ・アンケートの声をチェックし、速やかに改善に努めた。 ・利用案内のパンフレットを周辺の図書館等に設置させてもらうなど、施設の周知を図った。	・利用者アンケートを直接確認することで、利用者の要望や意見を把握するようし、指定管理者とともに利用者サービスの向上を図っている。
自主事業について ・多種多様な講座を設ける等、積極的に取り組んでいる。自主事業の目的は「採算ではなく、施設利用者増につなげる」とのことで、その目的はよいと思うが、採算も取れるような事業も可能か否かも含めて検討してもらいたい。 ・施設の目的に寄り添うことは大変だが、新規利用者の獲得にもつながるので、より良いアイデアをもって実施してほしい。	・参加者が気軽に参加し楽しめ、実りある実習・実践を盛り込んだ企画を継続中。 ・施設利用者を増やすため、ホール等を利用し地域市民団体との共催による事業を企画をした。	・自主事業の実施計画について、指定管理者と協議を行い、多くの方に興味を持ってもらえる内容となるよう、企画を工夫している。